

# 松苑会 会報

## 第6号

発行 令和6年5月31日



The University of  
Shimane Junior College

鳥根県立大学・鳥根県立大学短期大学部  
松江キャンパス 松苑会

〒690-0044 松江市浜乃木7丁目24番2号  
電話・FAX 0852-32-8586(代表)  
E-mail: shouenkai@vesta.ocn.ne.jp  
matsue.shouenkai@gmail.com  
毎週木曜日10:00~14:00(役員在室)

### 松苑会と歩んで

松苑会

会長 布志原 久美子



紫陽花の花が雨に映える季節となりました。松苑会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は松苑会活動にご理解ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

私が松苑会に理事として関わるようになって二十八年の月日が経ちましたが、その間時代の変化やニーズに伴い松苑会もいろいろと変わってまいりました。一番大きかったのは平成二十六年四月から松江キャンパスの一室を松苑会事務局としてお借りすることになり電話・FAX・PC・プリンターを設置し会議、理事会、事務作業等ができるようになったことだと思います。それまではホテルや公共施設を借りて行っていました。松江キャンパス内に事務局を開設したことにより学内の様子を知ることができ、副学長をはじめ諸先生方とお話をさせていただく機会も増え、松苑会の役割を考える中で学生支援の輪も広がってきました。また同窓会会館(カメリアホール)を建設していただいたことで理事会はそこで開催しています。会員の皆様も同窓会等にぜひご活用ください。

さて令和二年頃より世界中を巻き込んだ新型コロナウイルスの蔓延により、県立大学はリモート授業となり学生の姿を見かけることも無く、いろいろな行事が縮小されたり取りやめになりました。同じく松苑会もホームカミングデーや学生との交流バスターアールなどの行事は中止しました。昨年五月にコロナウイルスが五類に引き下げられ

たこともあり代議員総会は一年延期して昨年十一月十七日に松江キャンパスの大講義室で総会とマユールあき教授の講演会を七十名近くの方に出席していただき開催いたしました。

そしてこの春、会員の皆様に会報第六号をお届けする運びとなりましたのでぜひ会報に目を通していただき、母校のこと同窓生のことに想いを馳せていただければ幸いです。会報発行に当たり、お忙しい中原稿をお寄せいただきました皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

令和八年には県立大学松江キャンパスは創立八十周年を迎えます。松苑会もそれに伴い記念の総会を予定しております。八十年という歴史と伝統に培われた松江キャンパス並びに松苑会を今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

### ミーちゃんと金魚

鳥根県立大学松江キャンパス

副学長 岩田 英作



松江キャンパス内にある松苑会の事務局を訪ねると、いつも笑顔であたたかく迎えてくださいます。居心地がいいのみで帰ったためしがありません。松苑会様には、子どもアワードDayはじめ本学生生の諸活動をご支援いただき、まことにありがとうございます。今回、執筆の機会をいただきましたので、ミーちゃんと金魚に登場していただいで、松江キャンパスの様子をお伝えしたいと思います。

ミーちゃんは、松江キャンパスをうろついている白黒の猫です。名前は私が勝手に

つけました。コロナで学生がキャンパスに来ることができない時期が長く続きましたが、そのあいだ、ミーちゃんは私のよき話し相手でした。車がとまっていけない学生駐車場で、ミーちゃんはよくゴロゴロしていました。「ミーちゃん、元氣？」「ニャア」

「学生がおらんで、つまらんわ」「ニャア」まあこんな感じです。大げさに聞こえるかも知れませんが、私はミーちゃんのおかげでどれだけ無聊を慰められたか知れません。

令和五年になって、学生がキャンパスに戻ってきました。教室、食堂、図書館、体育館、学生ラウンジ、すべてが活気を取り戻し、そして初夏のことでした。松江キャンパスに突如、金魚鉢が現れました。鉢を覗くと、水草の間を数匹の金魚が気持ちよさそうに泳いでいます。金魚鉢は教職志望者有志の仕業でした。彼らは夏休みのあいだもよく大学に出てきて教員採用試験の勉強に励んでいました。きつと金魚の餌やりも兼ねていたのでしょう。元気に泳いでいる金魚は、彼らの意気込みと結末の象徴のようでした。教授の結果も見事で、志望者の多くがこの四月から教壇に立ちます。

これはほんの一例で、県立松江キャンパスのいたるところで、いいえ大学の外においても、学生たちの活躍は目覚ましく、キラキラと輝きを放っています。どうぞこれからも応援よろしく願います。

ところでミーちゃんですが、最近姿を見ません。「ミーちゃん、どうしたのかなあ」と授業で私が呟くと、「ミーちゃん、いましたよ」と、スマホで撮ったミーちゃんの写真を見せてくれる心優しい学生もいます。ひさしぶりにミーちゃんと話したいと思えます。ミーちゃんからすればおじさん相手よりキャンパスに戻ってきた若い学生たちと遊びたいかも知れません。

# 代議員総会開催

令和五年十一月十二日、島根県立大学・島根県立大学短期大学部松江キャンパス大講義室に於いて代議員総会を開催し、七十名近い代議員の方々にご出席いただきました。

総会では令和元年度から四年度までの会務報告、事業報告と監査報告があり、令和五年度事業計画と予算について承認されました。

## 松苑会代議員総会資料

とき 令和5年11月12日(日)  
ところ 松江キャンパス大講義室

日程	受付	12:40~13:10
	代議員総会	13:15~14:20
	講演	14:35~15:50
	閉会	16:00



主催  
島根県立大学・島根県立大学短期大学部 松江キャンパス  
松苑会

## 代議員総会次第

1. 開会のことば
2. 物故者に黙祷
3. 岩田副学長挨拶
4. 会長挨拶
5. 議事
  - 1) 議長選出
  - 2) 監事承認
  - 3) 事業報告
  - 4) 会計決算報告
  - 5) 会計監査報告
  - 6) 令和5年度事業計画(案)
  - 7) 令和5年度予算(案)
  - 8) 質疑応答
6. 閉会のことば

また、議事に先立ち

岩田副学長よりご挨拶をいただき、その中で最近の松江キャンパスの様子もいかがうことができました。

総会後の島根県立大学教授マユアキ先生の「絵本からの贈り物」と題してのご講演には一般の方の参加もあり、日ごろの絵本の読み聞かせの意義を興味深く再確認させていただける機会となりました。

## 総会の様子



## 講演会

### 絵本からの贈り物

島根県立大学人間文化学部 地域文化学科 教授 マユーあき

島根県立大学松江キャンパス教授のマユーあき先生に心温まる絵本の世界を講演していただきました。ご自分のお子様から始まった読み聞かせが、今では学生と子供たちのふれあいの場である「おはなしレストラン」の活動に繋がっているということでした。何冊か絵本の紹介をしていただき、実際に読み聞かせもしていただきました。

家に帰ってさっそく絵本を引っ張り出した方も多かったようです。



松苑会代議員総会  
講演会

# 絵本からの贈り物

令和5年 11/12(日) 14時35分～15時50分

島根県立大学・島根県立大学短期大学部  
松江キャンパス 大講義室 (松江市浜乃木7-24-2)

講師 マユーあき先生  
(島根県立大学教授)

島根県松江市生まれ。  
1985年 慶応義塾大学大学院文学研究科(英語学専攻)修士課程修了。  
1988年 島根県立島根女子短期大学助手として赴任。文学科英文専攻で教育研究に従事。  
2018年 四大学部編成により、島根県立大学人間文化学部地域文化学科教授。  
2021年より学生生活部長を務める。



### 椿の花は永遠に

平成二十五年総合文化学科五十九期卒業

清水典子

コロナ禍で外出することも減り、鬱々としていました。

この度代議員総会の案内が届き、ここぞとばかり出席させていただきました。

「なんと岩田先生、マユー先生に会える」十年ぶりでした。十年一昔と言いますが、お二人ともお変わりなく学生の頃に戻ったようでした。

マユー先生は、私が社会人入学する時に面接をしていただきました。先生の講演を拝聴して、我が子に絵本を読み聞かせていたら良かったのにと悔やまれました。岩田先生の授業を通して宮沢賢治に興味を持つことができました。お二人とも偉大な恩師です。

今回の総会において松苑会の方々には、本当に感謝しております。とても良い時間が過ごせました。

最後に、何が起るかわからないこの頃ですが、いつまでも県大や松苑会が続くことを願っております。

## 代議員総会に参加して

平成二十二年総合文化学科卒業 部 田 中 希

八月のある日、松苑会事務局へ向かいました。紆余曲折を経て母校の職員となったものの、進学や就職、結婚で引越しを繰り返したため、いつしか松苑会からのお便りも届かなくなっていました。加えて卒業前に「松苑会の代議員になってよ」と先生に頼まれ、よく理解しないまま領いた記憶が……。これまでの不義理を反省しながらドアをノックすると、布志原会長をはじめ役員の皆様が温かく迎えてくださいました。そして手作りのお菓子をいただきながら家事や育児のアドバイスをもらい、宛先不明で戻ってきていた代議員総会の案内を受け取ったのでした。

総会への参加はもちろん初めてです。会場の大講義室では「久しぶり〜！」「元気にしてた？」と再会を喜ぶ先輩方の姿が。皆様本当にエネルギーで、学生時代に戻ったような盛り上がりです。岩田副学長の挨拶ではコロナ禍から立ち直りつつある大学の様子を、マユー先生の講義では自分の子どもにと始めた絵本の読み聞かせが、図書ボランティアや授業へ広がっていった過程をお話いただきました。私も両先生が担当されていた読み聞かせの授業を履修していたので、学内外での実践で得た経験が、今では我が子への読み聞かせのペースになっています。最後の絵本紹介では「育児あるある」に笑い声此起彼伏たり、お話の世界に入り込んだりして、楽しいひとときとなりました。

今回の総会は代議員の友人を誘って参加し、松苑会を盛り上げていけたらと思います。役員の皆様、大変お世話になりました。

## コロナ禍の松苑会活動あれこれ

保専二十期卒業 金 平 賞 子

私が松苑会の理事になった頃より新型コロナウィルス流行が始まり、皆様ご存じの通り世の中は自粛ムード一色となりました。松苑会の活動も流行状況を見ながらの対応となったことは、言うまでもありません。感染蔓延当初（令和二年度）は、理事会を二回書面で行い、恒例の行事は殆ど実施できませんでした。当然松江キャンパスに於いても学生の姿はなく、かけがいのない大切な学生生活がこのように形で終わるのかと思うと、気の毒としか言いようがありませんでした。

感染対策を行いながら、少しずつキャンパス内での活動ができる様になっても、直接かかわることはできないため、寄贈や寄附という形での支援となりました。そして、三年に一度の代議員総会も一年延期し、内容も感染予防のため飲食は控えることになりました。また、出席者数の想定も難しいため柔軟に対応できることを考え、会場を松江キャンパス大講義室で開催することにしました。前例のない会場ということ、あれこれと準備に賭けた時間を思うと、本番はあつという間に無事終了しました。

マユーあき先生の講演には、恩師に会えるのを楽しみに出席された方や、わざわざ聴講に来場された方もありました。普段大学に入る機会がない方には、学内の雰囲気や懐かしさを感じていただけたのではないのでしょうか。また、カメラアホール（卒業生会館）を見学していただけたことも、大学で行った成果の一つかと思えます。今後に向けては、若い会員の出席や参加をどのようにして増やしていくのかが課題だと感じました。

先日、松苑会事務局に行ったところ、キャンパス内には多くの学生の姿がありました。学食に行き食券販売機の前でウロウロしていると、学生さんが「お

弁当は中での支払いですよ」と、やさしく声をかけてくださり心がほっこりしました。まだまだ心配なこともありますが、誰もが安心して活動できる日が一日も早く戻ってくることを願うばかりです。

## 初めて代議員総会に関わって

保育科二十六期卒業 三 島 幸 子

「お久しぶり！」「お元気でしたか？」と再会を喜び笑顔で言葉を交わす光景に、無事に当日を迎えられて良かったと思いました。

私が松苑会理事をお受けしたのは、令和二年度でコロナ禍でした。当時、理事会で代議員総会の実施が話題になった時の雰囲気から、この会は三年毎の大変な事業なのだという印象を受けました。

四年度に準備委員会が設置されてから役割を分担し着々と準備が進められました。私にとっては全てが初めてで指示されることをこなすだけでした。案内状発送にあたり、まずは、前回の会報発送分で宛先不明のため返送された何百通もの住所を卒業生名簿でチェックすることでした。次に、四百通余りの案内状を発送し、返信が届くと出欠の確認です。葉書の近況欄に「毎日家族の食事を作っています」「孫の世話をしています」等の文面に、お会いしたことはないけれど思わず領いたり思いを馳せたりしました。そして、出欠にかかわらず返信していただいたことを有難く思いました。

当日は、会が順調に進行し、マユーあき先生の講演で絵本の読み聞かせをしていた頃を思い出し癒され、気づけば終了でした。今回、会場が松江キャンパス内になり全て自分達で準備を進める過程での協力体制と、年代を越えた会員の皆様の松苑会に対する思いや会員同士の繋がりを、開催者側として関わり、実感することができました。

# 活動報告

(令和2年度～5年度)

## ① 未来ゆめ基金へ寄付 (令和4～5年度)

「島根県立大学未来ゆめ基金」は、島根県立大学憲章に基づき行う人材の養成に資する事業の充実を図るため設置されました。松苑会はこの趣旨に賛同して寄付をしました。



## ② 子どもアートDayへ寄付(令和4～5年度)

子どもアートDayは、松江市周辺で子どもに関わる活動をしている個人や団体が集まって子どもと思いっきり楽しもう！という取組です。絵本の読み聞かせや、ワークショップのサポート等に参加した松江キャンパスの学生への支援として寄付をしました。



## ③ 新型コロナウイルス感染予防対策への支援

令和2年度、マスクや消毒液が不足していたので寄贈し、学生支援のため30万円を寄付しました。

## ④ 新入生歓迎球技大会に飲料の提供(令和3年～5年度)

令和2年度は、コロナのため中止でしたが、その後は毎年提供しています。

## ⑤ 飛鳥祭へ寄付(令和3年～5年度)

令和2年度はコロナのため中止になり、令和3年度、4年度は感染予防のため参加はできませんでした。令和5年度は、一般も参加できるようになりました。協賛として広告料と大抽選会の景品代を支援しています。

## ⑥ 出雲キャンパス(看護職、栄養専門職養成70周年記念行事)への参加と祝金(令和5年度)

島根県における看護職養成は1951年(昭和26年)開始から72年が経過し、栄養専門職養成においては1953年(昭和28年)の開始から70年を迎え、令和5年10月2日に松江キャンパスにおいて記念式典・記念イベントが開催されました。

栄養専門職養成の学部については、2018年(平成30年)3月までは松江キャンパスに置かれていたもので松苑会も招待していただき、会長、副会長、理事の4名で出席しました。

# 松苑会会報に寄せて

## 松江キャンパスもう一つの「あゆみ」

島根県立大学松江キャンパス

前副学長 岸 本 強



様が在室されていることから他大学に例を見ないほど身近に感じていますと共に心強く思っています。

私は令和五年三月三十一日をもって島根県立大学を退職しました。昭和五十六年四月に着任以来、定年年齢（六十五歳）を一年延長して、四十二年間勤めさせてもらいました。乃木福富校舎勤務経験者は私で最後になります。

この度の退職を機に、松苑会会長の布志原久美子様から執筆依頼を受け、何を書けば良いのか迷いましたが、短大部文化情報学科（旧名：総合文化学科）で発刊している最新版「ひだまりのおと」に掲載した拙稿の一部を引用し、手直しして原稿にすることにしました。学び舎の風景を思い起こしてもらえれば幸いです。

【短大部文化情報誌「ひだまりのおと」執筆分から一部抜粋編集】

「松江キャンパスは瀟洒<sup>しょうしや</sup>で素敵な大学ですね」と

よく耳にします。嬉しいことです。道路を挟んで隣接する運動公園緑地を借景にした本学の紹介写真は本当に素敵で、自画自賛したい一枚です。レンガ色の学舎が引き立てられているのは、学内の木々や植栽が一翼を担っていることを強調しておかなければならないでしょう。新たに文学科増設となり、乃木福富町から新築移転（平成元年）した現キャンパスは

狭小ながら緑豊かで落ち着いた学び舎です。

この度は「キャンパスを彩る植物」を中心に取上げることにし、皆様には更なる母校への愛着を抱いてくだされば幸いです。

十月になるとキャンパス内に甘い香りが広く漂います。一年間じつと存在を潜めていた金木犀が、橙黄色の花とともに強い香りを放ち、一気に存在感を誇示します。私は金木犀が大好きですが、中でもキャンパス一号館横の金木犀には特別な思いがあり、毎年、樹勢や花の付き具合を気に掛けてきました。

この松江キャンパスは、一九八九年に乃木福富町



から現地に新築移転しました。それから三十四年が経ちます。移転の際、敷地内の樹木を現校舎へ移植するための選定作業で選ばれた一本がこの金木犀なのです。木造平屋の狭い講堂（兼、体育館）と渡り廊下でつながった棟（私が使用していた体育研究室があった）との間に立っていたのが移植された金木犀なので、一年に一度甘い香りを放ち、乃木福富でも現キャンパスでも、学生・教職員に安らぎや潤いを与え見守り続けてくれている、本学の歴史には欠かせない重要な木なのです。





キャンパス内には色々な木々や植栽があります。乃木福富からの移植組は、図書館裏の丘に沿って立つ複数本の八重桜や学生寮（紅梅寮）の紅梅が主なものでしょうか。正門から事務室横を通り、一号館までのメイン・ストリートに新たに植えられたのがアメリカハナミズキです。春には数種類の高貴な鮮やかな花でキャンパスを彩り飾ってくれます。遠くから観る花も綺麗ですが、間近で見ると花弁は気品に溢れていて感動すら覚えます。秋には紅葉し十二月には落葉する、四季の移ろいを感じさせてくれる松江キャンパスの正にシンボル・ツリーです。高価な木ですが、近年、樹皮に苔が生したり、樹勢が衰えたようで心配しています。その他、移転後に植えられたのは二号館横の常緑の白樫（新図書館が建つまでは寮までの道路沿いに一定間隔で植樹されていた）、テニスコートを囲む山茶花、音楽棟下側の壁面を彩るツツジとサツキ、正門から自転車置き場にかけてのツツジ、タマツゲが主なものです。名譽教授有志が学舎移転記念に植樹された、中庭

のコウヤマキも忘れてはいけません。その側の屋根付き通路沿いには、春には小粒で白い可愛らしい花を咲かせ、晩秋には小さな葉が真っ赤に染まるドウダンツツジもあります。

キャンパスフォーラムや、管理棟玄関を飾るプラントの花々も私たちを和ませてくれています。これらは後援会の支援によって設置されているもので、事務職員の管理の下、四季の花を愛でることが出来ます。

裏山は「奥山横穴群」の名のついた遺跡であることをご存じでしたか。敷地造成の際には「鉄製太刀」も発掘されています。狭小な敷地ですのでここを造成して拡張できればキャンパスも広くなるのですが、敷地内遺跡は自費発掘が原則とのことですが付けられず現状保存となっています。この遺跡の裏山もキャンパス景観には欠くことはできません。

この様に、木々・植栽は四季毎に様々な表情を見せながらキャンパスを年中彩り、生活に潤いを与え、人を和ませ、癒してくれる素晴らしい役割を果たしてくれています。

松江キャンパスの歴史が刻まれる中で「キャンパスを彩る植物」は、そこで過ごし巣立つ学生・教職員には欠かせない環境の一部でありましたし、これからもそうあり続けることでしょう。

冒頭で書きましたように、この三月で退職しました。昭和五十年代半ばの乃木福富校舎の頃から思い起こすと、家政科・保育科の二学科から、平成に元号が変わるときに文学科が増設され、学科の改編・拡充、学科名変更、浜田・出雲・松江の県立大学・

短期大学の統合法人化、四年制学部の増設とともに健康栄養学科（旧・家政科食物専攻）の出雲キャンパス（看護栄養学部）への再編、短期大学の規模縮小存置など……、私が在籍していた中でも多くの変遷を経て今があります。

私の前任の副学長・山下由紀恵先生が「松江キャンパス四大化のあり方検討会まとめ」の中で、地方の公立大学（短期大学）が担うべき役割について実的に射た表現をされました。「選ばれる公立大学」「役に立つ公立大学」「支援し続ける公立大学」です。この使命を全うしていくこそが、この先も県立大学松江キャンパスが存在する意味そのものになるのでしよう。

退職にあたりこのような機会をくださったことに感謝申し上げます。松江キャンパスは「前身」からもうすぐ八十周年を迎える歴史ある高等教育機関です。松江キャンパスがこの先も益々充実し発展していくことを祈りつつ筆をおきます。

（二〇二三・六・二八記）



## 《メールアドレス登録のお願い》

現在松苑会は理事20名、代議員約450名、会員約7,500名で構成されています。会員対象の事業としては10年に一度の総会とその間に2回の代議員総会、そういった事業の後の会報発行、毎年のホームカミングデーがあります。総会案内と会報は会員全員に、代議員総会とホームカミングデーの案内は代議員に郵送していますが、宛先不明で約2割は返送されています。返送された郵便物については次回からは郵送を見合わせています。

一人でも多くの方に色々な情報をお届けするためには住所だけでなくメールアドレスの登録も必須だと考えています。SNSの活用が主流になっている昨今、会員の皆様の個人情報には細心の注意を払って管理いたしますので、ぜひともご登録いただきますようお願い申し上げます。

### ●登録方法

①QRコードを読み込んで、必要事項を入力の上送信してください。

②電話・FAXまたはメールにて、下記の項目をお知らせください。

- (1)お名前(旧姓)      (2)卒業年      (3)学部・学科・専攻  
(4)郵便番号・住所      (5)電話番号      (6)メールアドレス

電話・FAX：0852-32-8586

E-mail：matsue.shouenkai@gmail.com

QRコード



GoogleForm

松苑会会員メールアドレス登録および住所等変更届

※必須項目をご入力の上送信してください。  
※住所等変更のない方も入力をお願いします。  
※松苑会では登録された情報を発行物の郵送時に利用させていただきます。

Googleにログインすると作業内容を保存できます。詳細

\*必須の質問です

お名前\*  
旧姓がある場合は合わせて入力をお願いします。

回答を入力

### 《会員の異動についてのお願い》

会員の皆様の住所、氏名の変更等は事務局までお知らせください。

事務局開設日 毎週木曜日  
10時～14時

電話・FAX 0852-32-8586

E-mail：shouenkai@vesta.ocn.ne.jp  
matsue.shouenkai@gmail.com

### 《お知らせ》

○同窓会の補助について

同窓会開催の経費として会員一人当たり200円を補助しています。  
詳細は松苑会事務局までお問い合わせください。

○総会について

R8年度に大学創立80周年を記念して、総会の開催を予定しています。

## 松苑会役員名簿

会 長	布志原 久美子	理 事	西 山 啓 子	理 事	村 上 典 子	理 事	安 達 砂 奈 江
副 会 長	菊 池 伴 子	理 事	小 森 久 美 子	理 事	松 本 史 子	理 事	古 川 貴 美 子
副会長・事務局長	板 倉 純 子	理 事	太 田 泰 子	理 事	福 島 智 恵 美	理 事	福 田 環
理 事	佐 藤 和 子	理 事	景 山 佳 代	理 事	月 橋 和 子	監 事	松 浦 絹 子
理 事	金 平 賞 子	理 事	狩 野 慶 子	理 事	三 島 幸 子	監 事	玉 木 貴 美 子

### 退任役員の方々

監 事	安 部 文 子	理 事	金 山 絵 梨
理 事	山 本 知 子	理 事	敷 田 美 紀

### 新任役員の方

監 事	玉 木 貴 美 子
-----	-----------

URL <http://www.u-shimane.ac.jp>

島根県立大学

検索